

日新
 苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひ び あら 日々に新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」

日新地区だより 52号



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：まちの未来づくり日新 広報部会
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館
 発行日：令和元年(2019年)12月20日

「まちづくり日新・環境部会」活動中の人身事故……

まちづくり日新

事務局長 阪井 一彦

地域の皆様には「まちづくり日新」の活動に、いろいろとご協力いただき有り難うございます。

夏には底喰川の高水敷を赤紫に染めるミソハギの花が咲き誇り、最近では日新地区のシンボルとまで言われるくらいになりました。底喰川上流・下流の地区と比べても、日新地区のように人の手が増えられなくては今の状態にはなりません。

その中心となり活動してこられた「まちづくり日新・環境部会」の刈り払い機を使用しての草刈作業中(9/22)に人身事故が起きました。怪我をされたご本人様は勿論のこと、ご家族には多大なるご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫びしますとともに、早く回復されることを念じます。

刈り払い機の本格導入は平成23年頃より始めました。はじめは十分に安全に注意しながら取り扱ってききましたが、この8~9年間は全く事故はなく気の緩みもあり今回の事故に繋がったものと思います。

そこで、今回の事故を踏まえて、2度と事故が起こらないように、下記に示した「刈り払い作業5ヶ条」を作りました。

また、刈り払い機使用中の作業時には防護面と脛あてを4人分購入しました。

刈り払い機の安全作業5ヶ条

- (1) 刈り払い機の整備・点検は必ずエンジンを停止して行う
- (2) 草刈作業は必ず2名以上で行う
 - ・お互いを確認できる場所で作業する
 - ・内、一人は携帯電話を携帯すること
- (3) 作業者の間隔は2メートル以上離れること
- (4) 安全具を必ず装着のこと(防護面・脛あて)
- (5) 草刈作業終了後は必ず刈り払い機と保護具の清掃・点検・整備を実施すること



防護面



脛あて

器具保管庫に、この「刈り払い作業5ヶ条」を掲示し、作業の安全に注意することにしました。安全についてはこれで十分という事はありません。上記のことを徹底し事故の再発を防ぎたいと思っています。今後とも、まちづくり実行委員並びに地区の皆様の底喰川環境美化の活動へのご協力を宜しくお願いします。

なかなか除去できない頑固な根っこがありました。その根っこをツルハシを使ってやっとの思いで取れました。

一斉清掃時の様子

今年最後の清掃作業で、早速新しく購入した防護面と脛あてを装備しての草刈り作業



底喰川探訪

日新の公民館南側周辺の底喰川は毎月2回の環境部会を中心とした清掃作業が行われ、皆様の協力のお陰で他の所に比べると大変綺麗になっています。しかし、清掃後の数日で高水敷はマーケットのレジ袋などでたちまちごみが散乱しています。また、上流から流れてきたゴミの堆積により川中央に三角州的な島ができ、芦原街道に架かっている田原橋の西側にも特に大きなもの(写真)になっています。乾徳1号橋(クルサ横)にもゴミの島ができています。

川の中央に在り、ここまで大きく発達したゴミの塊は公民館レベルでの清掃では到底除去できないと思います。今年の「まちづくり館外研修」の「京都高瀬川が国土交通省の協力で川の清掃などを行っている」と言われていました。我々も県への協力要請を働き掛けるべきかと思えます。また、ゴミなどが上流から流れてきていることから上流の町内会と一緒に底喰川の環境美化を行っていくべきだと思います。



11月28日に福井大学前西福井駅の底喰川に面した柵に藤島中学生のポスターが張られていました。

皆でポイ捨てゼロを!!



犬のフンに憤慨

毎朝、底喰川周辺を散歩し挨拶を交わす人も出てきました。大半が日新地区の方々です。しかし、「犬のフン」が放置してあるのを時々目にします。5月の朝日新聞に『イエローチヨーク作線(黄色いチヨークでフンを囲み日時を書き込む)』なる記事が掲載されていました。早速実行してみたところ1週間後には全てなくなり、「いいことをしたなあ〜」と思っておりましたが、喜びもつかの間、10月頃からまたまた同じ場所に「犬のフン」が現れ出しました。近所の人「うちの前の庭にもしてあるんですよ」とのこと。



福井市では条例で平成8年12月25日条例第30号に「福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例」第6条 飼い主は、ふん害を防止し、市民の良好な生活環境が損なわれないように努めるとともに、この条例の目的を達成するため、市が実施する施策に協力しなければならない。

ネット上で「イエローチヨーク作戦」で検索したところ、小平市・三田市・宇治市・和泉市等でもこの作戦を行っているようです。是非、日新地区の環境美化のためにもこの作戦を広めたいですね。

東高瀬川美化活動研修と京都迎賓館見学の旅

友田 和恵

9月29日 日曜の朝に公民館から43名の乗客を乗せて大型バスが出発しました。まちづくり研修を兼ねた京都への日帰り旅です。まず最初は「高瀬川を美しくする会」の説明が行われるACT京都に到着しました。この会の会長は川の南側沿いで古くから酒造会社を営む松本社長さんです。活動の取り組みは11年前から毎年堤防の土手に菜の花を植栽しネットを張るなど水害に強い川を目指して行動を起こしました。これには行政も参加し国土交通省淀川河川事務所の職員が派遣されたり、春秋2回の大型機械による除草が行なわれるようになったとのこと。しかし近年は予算が縮小傾向で回数が減りつつあるそうです。お話の後、夏の名残りの草が背丈ほどに茂った堤防を歩いて、松本酒造へ向かいました。酒蔵を見学し試飲の銘酒を買って昼食処「美ね寅」へ移動。小さなおそばや刺身・天ぷらなどの京料理をいただきました。午後は京都御所の駐車場からいよいよお待ちかねの迎賓館へ歩きます。小雨の予報がはずれて汗ばむ陽気と胸の高鳴る中、建物が目に入ってきます。人数の制限があるので2班に分かれて整列し受付がすむとようやく入館です。「夕映えの間」の美しい壁面絵画と見えたのは緞



れ織の作品で川島織物が製作、「桐の間」の長さ12mの漆黒のテーブルは等圧合板を1枚仕立てに置いてあり、堀こたつ式です。日本庭園の広い池には国宝級の美しい鯉が優雅に舞うように放されていました。1時間ほどの見学もあっという間に終わり深い感動を覚えながら帰りのバスに乗りました。

第40回公民館まつりの様子 (10月20日)

前日は大雨、祭りの当日は一転して秋晴れの中、大勢の人で賑わいました



街の文化人

人生 100 年に向けて

山下 敬之



今回は、人生 100 年に向けてダンスに情熱を燃やす女性の紹介です。現在、乾徳 4 丁目にお住まいの家接加津子さん（81 歳）、若い頃は福井新聞社で仕事をして、結婚を機に主婦業に専念しつつ、またパート業を続けながらも、3 人の息子さんを

育てられました。

なんと、ダンスと出会われたのは、20 年前の、1996 年に公開された役所広司さん、草刈民代さん主演の「Shall we ダンス?」を観て、感銘を受け、社交ダンスの存在を知ってからとの事です。特に若いころからダンスに取り組んでいた訳ではなく、最初は姉 2 人がダンスをしていたので、一緒に始めたそうです。

現在では、福井市の「ダンスワークス 291」というダンススクールに通いながら、吉澤直哉さんという若い先生とパートナーを組んで、週に 1 回の練習に力を入れているとの事です。パーティーのデモンストレーションやダンスの大会にも積極的に参加しており、若い人と同じ様にダンスが踊れるよう、毎日 2 時間ほどのストレッチ・筋トレを続けているそうです。

また、ダンスでの美しさを表現するために内面をいかに鍛えるかが重要であり、日々、プロのダンスを観て研究したり、筋肉や骨格などの勉強をしたりと忙しいご様子です。それもこれも、一番に理解し協力してくれるご主人様のお陰であると感謝されておりました。ダンスに掛けては、誰にも負けたくないという強い意志とともに、人生百年に向けてまだまだエネルギッシュに取り組む姿勢に感銘を受けました。



やっと準備が出来ました

これはなあに？



乾徳 2 丁目の玄関に 4 桁の数字が書いてある看板がありました。

これはいったい何でしょう？

近づいてみると、上の方に「TEL」と書いてあります。

家の方に聞いてみると昔の電話番号であるとのこと。今なら考えられないことです。個人情報も堂々と掲げていることになりそうです。

9月の一斉清掃中に事故がありました。そこで事故の再発防止の為に、刈り払い機の取り扱いを含めた決まり事を新たに決めました。(1ページに掲載)

環境部会の活動は毎年、雪解けの3月半ばから雪の降り始める11月(第4日曜日)までの9ヶ月間毎月1回の奉仕作業を実施しています。「底喰川周辺を綺麗にしよう!」の運動は平成10年から始められおよそ20年になります。3年前からのミソハギの花が綺麗に咲く8月に「ミソハギ花まつり」を開催しています。

環境部会は、この事業の準備を兼ねた底喰川高水敷へのミソハギの植え込みや、その花の周囲の清掃、上里公務員宿舍横の花壇の手入れ、堤防敷の花壇の手入れ等を中心の作業をしています。



今後はより綺麗にミソハギ鑑賞が出来ることを踏まえて、株植えの際に綺麗に花の間隔などを考えて美的感覚をよくすること、あまりにも活動範囲が広がったために下水処理場の川下のミソハギ除草を廃止し、その人力を乾徳橋周辺の左岸右岸のミソハギ分植拡大に費やしていきたいと思えます。このような方針で1年間の活動を考えています。

日新地区の皆様へ、今後とも環境部会への応援協力を宜しくお願いします。



今年度も日新地区のみなさんの協力に感謝致します。

2019年度乗車実績予測(12月の計画値)

(参考) 1月~12月迄	基準割当	7040名
	実績	7825名(12月540名)
	割当%	111% (+785名)



上記の通り1年間に約10%アップの業績にて終える事が出来ました。特に昨年の8月以降の事業内容の一部改正・修正がその生産性を高める為の企画内容を良き結果に導いたものと判断します。

今後も以下の内容を活動指針とし、強力に推し進めたく思います。宜しく応援の程お願いいたします。

[部会三つのねらい] → 高齢化になっていく中で

- ① 多岐に亘るイベントを立案する。
参加者同志の楽しみ・笑いによって元気を高める事を目的とし、その輪づくりに積極的に努力をいたします。
- ② コミュニティバスの活用によりお客様同士のフレンドリー化を高め、人間関係の輪づくりの為にその応援を致します。
- ③ 日々の通常活動(買物、病院、食事など)に対しての積極的支援を致します。

2019年度もいろいろと有りました。

新元号は248番目の「令和」としてスタートが切られ、新しき変革と、良き時代を迎えられるように、その期待度を高めるための瞬間でありました。しかし、10月より消費税が10%に改定され、生活環境等の変化の多い一年でも有りました。選挙で始まり選挙で終わる何かとせわしい一年であります。又、予想外の災害等もありました。貴方の一年は如何であったでしょうか?



今年も日新コミュニティバス運行事業に際し、まちづくり交通部会は地域の皆さまの為に少しでも役にたてるように、役員一同一生懸命にがんばりますので、今後ともご協力の程宜しくお願いいたします。